

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO.Proリハ備前		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携ができており、いろいろな専門的視点で利用児童を支援できる。 その日の子供の様子を関わっている職員全員で共有できている	分からないことやどうしていくべきかを複数の職員の意見を聞いて療育に取り入れていける環境 各職員が意識的に療育について振り返ることが出来ている	業務時間内でカンファレンスや申し送りなどが出来るように、日々のスケジュールを調整し時間を確保していく取り組みが必要
2	手作り教材や部屋の環境等利用児童一人ひとりに応じた設定を行い、プログラムを設定していること	それぞれのスタッフが強みとしている専門性で多角的に特性理解を深めたり、地域の情報を取り入れている	保護者の許可を得ながら、療育の様子を動画で取り、振り返り等を行って、自身やスタッフ同士で療育のフィードバックを行う
3	療育のみでなく、保護者が抱えている日々の子育て等の悩みについて地域に密着した相談が出来るスタッフが多い	保護者からの相談に応じて療育時間に相談支援の時間を設けている。	職員間でも共通理解を深め、相談内容に合った職員が対応し早期に相談支援できる体勢作り

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動遊びをする部屋の視覚的な刺激量が多いため、特性に応じた環境設定に時間がかかる	ものを片づける、視覚刺激を減らすための収納の工夫がもっと必要。 部屋数やスペースの確保が十分でない。	部屋数や収納を増やすことが難しいため、仕切りなど簡易的に出来るものを活用する
2	個別支援計画作成のためのカンファレンスや療育後の職員間での申し送りや振り返りの時間配分や時間確保	計画を立てるうえで職員の知識不足によって時間がかかることがある。 非常勤職員が参加できる時間の確保が難しい	研修などで職員の知識を増やし、アウトプットすることが必要 申し送りを口頭だけでなく、視覚化することで時間に制限があっても確認ができる環境を作る
3	療育についての経験が浅かったり、保護者支援や特化した療育が出来るなど、職員によって能力や知識にばらつきがあり、アプローチがバラバラになりやすい。	開設して1年半のため職員間の経験の差がみられる。保護者のニーズに専門的に沿った療育や特性に対する困り感について対応にばらつきが見られる。	経験のあるスタッフと一緒に療育を行いフィードバックの機会を設ける 法人内外問わず、研修などで知識を増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達LABO.Proリハ八幡前

公表日 2025 年 3 月 4 日

利用児童数

41

回収数

26

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	1		
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	1	子ども同士の対人関係に課題を感じている部分については、対応に限界もあるのかなと思っています。	子ども同士での対人関係の基本的なやり取りの支援を行いながら、子ども同士で起こりうる場面を想定したやり取りなども取り入れていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	2	なかなか全ての課題を網羅するのは難しいと思っています。	公表しているプログラムは一人のお子様に対して全て実施することは難しく、一人一人にあわせたプログラムの設定をしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	0	1	毎回色んなメニューを用意して頂いています。	ご意見ありがとうございます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	7	5	4		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	4	5	希望します	令和7年1月にご利用家族に向けて講演会を行いました。継続して実施していきますのでご参加よろしく申し上げます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	3	もう少し頻度高くてもいいかな	親子療育なので可能な限りは家族支援についての相談を実施しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	11	10			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	8	3	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	8	0	4	説明あったか、覚えてないです。	契約時に重要事項説明書を通してマニュアルについてはご説明していますが、すべてを説明するには時間がかかるので必要に応じてご説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	3	16		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	1	とても楽しく通所しています	ご意見ありがとうございます。もっと楽しんで通所してもらえるよう日々精進します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ備前				公表日	2025 年 3 月 4 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	利用者の特性によって職員配置の増減の配慮は必要	適切に予定配置していますが、体調不良などの急な休みについての対応など相互理解を必要とする必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	個別療育のため本人に応じた環境設定にしている。	道具を片付ける場所をもう少し見えない空間にしたい ジャングルルームの用具入れに仕切りがない為、中が見えており、そちらが気になってしまいうちの子が多い。背が高いマットで仕切る、取りつけ可能であればカーテンを用いるなどしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	必要に応じて職員同士で連携を取り確保はできている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	なるべく全員参加でカンファレンスを行っている。 自身が理解ができていないので知ることは必要	カンファレンスや申し送りに時間がかかっているため改善や時間配分の見直しが必要	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表があることを知らないで知る機会が必要		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	なるべく全員参加でカンファレンスを行っている。 自身が理解ができていないので知ることは必要	カンファレンスや申し送りに時間がかかっているため改善や時間配分の見直しが必要	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	外部評価されているかなど自身が知らないことが多いので連絡を受ける体制は自身でも必要かと思う	第三者評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	法人内での研修は業務時間内に受けられるようにスケジュール調整ができています	非常勤職員の研修の時間の確保が意識的に必要	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	いろいろな評価バッテリーを活用している	個人によってアセスメント力にばらつきがあるため研修や実施後のフィードバックの確保	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	個別支援計画作成のためのカンファレンスは基本的に全職員が参加できるようにしている	時間の確保が必要	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		全ての児童の把握はできていないので定期的な確認作業は必要	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			

× 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	個別支援計画はチームで実施できている	日々の療育プログラムの設定は全てはできていないので時間の確保は必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	他支援者の補助に入ったり動画で確認したり、意識的にスタッフを変更して固定化しないように行っている	特性によっては固定化することで安心して療育に取り組むことが出来る場合もあるため見極めていく必要がある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		集団になると対大人とのかかわりになるので困難な部分もある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		保護者に書面で就学前までの療育報告書を作成し保護者を通して就学先の学校に情報共有は図っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	自身が理解できていない	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	時間的にもできる職員で対応はできている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	3		管理者が説明をしています。療育担当職員は現在その役割を担っていないので「いいえ」の回答になっています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		個別支援計画の説明と同意は児童発達支援管理責任者が行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	今年度行った講演会で、両親で参加していただけのため、家族との交流につながる	令和7年1月に開催した講演会が好評だったため今後も定期的に企画して交流の機会を増やしていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	3		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		紙面での発行はありませんが、定期的にブログやInstagramにて発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1		できていないのでリスト化などできればよいと思う
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		把握ができていないのでリスト化は必要
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		